

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成21年6月8日)

項目	ページ
1 鳥獣被害対策の取組状況について 【生産振興課】	1
2 森林整備事業競争入札制度の改正について 【森林・林業総室】	3
3 財団法人鳥取県造林公社経営検討委員会の設置について 【森林・林業総室】	4
4 県営境港水産物地方卸売市場におけるマグロ観光活用について 【境港水産事務所】	5

農 林 水 産 部

# 鳥獣被害対策の取組状況について

平成21年6月8日  
生産振興課

## 1 平成20年度の鳥獣被害状況

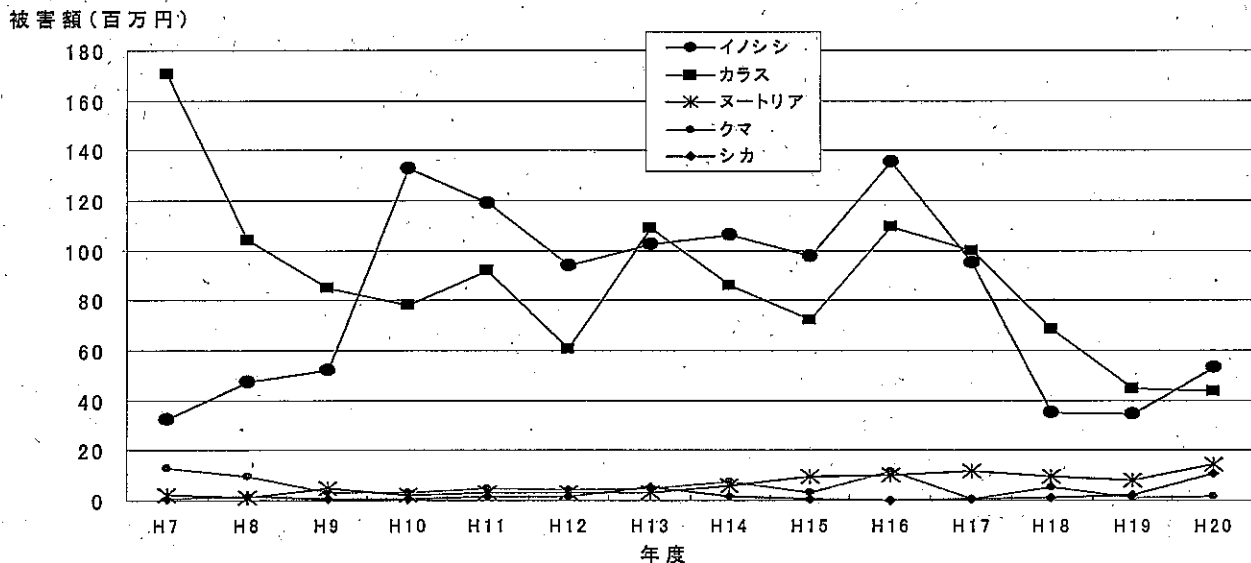
○ 鳥獣による農作物等の被害額は、129百万円と前年度より35%増加。

主な鳥獣	被害状況等
イノシシ	被害額は53百万円と前年比153%に増加。 集団的・効果的な侵入防止柵の設置等が必要。 〔主な被害作物〕①水稲(67%) ②梨(12%) ③野菜類(8%)
カラス	被害額は44百万円と前年比98%。中西部で果樹被害が多い。 侵入防止、捕獲・追い払いのほか、未管理施設等をエサ場にさせない対策が必要。 〔主な被害作物〕①梨(57%) ②スイカ(22%)
シカ	被害額は11百万円と前年比の510%に増加。東部を中心に個体数・生息域が拡大中。 集団的・効果的な柵設置と捕獲対策が必要。 〔主な被害作物〕①スギ・ヒノキ(91%) ②野菜類(6%) ③水稲(3%)
ヌートリア	被害額は14百万円と前年同期比185%に増加。中西部を中心に被害が発生。 生息域が拡大し、県東部でも被害が増加。地域ぐるみの徹底捕獲が必要。 〔主な被害作物〕①水稲(58%) ②野菜類(36%)
アライグマ	県東部の家庭菜園等(ブドウ・スイカ・イチゴ)で被害が発生。 鳥取市・岩美町・八頭町で生息域が拡大。早期に根絶を目指した徹底捕獲が必要。

〈H20年度における被害額及び捕獲数〉

区分	イノシシ	カラス	シカ	ヌートリア	その他	計
被害額	53百万円	44百万円	11百万円	14百万円	7百万円	129百万円
前年同期比	153%	98%	510%	185%	—	135%
捕獲数	4,733頭	2,545羽	591頭	1,460頭	—	—
前年同期比	112%	84%	147%	168%	—	—

〈鳥獣による農林産物被害額の推移〉



## 2 鳥獣被害対策の取組

### (1) 対策の普及

区 分	主 な 内 容																				
指導者の養成	<p>① <b>改良普及員等の研修</b>            (研修方法) 室内及び現地、延べ8回 (6~11月)</p> <p>② <b>「鳥獣・里山塾」による民間指導者「イノシッシ (取組職社)」の養成</b>            ※ 鳥獣・里山塾 (室内及び現地) : 10講座 (5~12月)            ※ H20年度のイノシッシ登録者数は34名、H21年度の受講者数は54名</p>																				
技術の普及	<p>③ <b>県版鳥獣被害対策マニュアル「鳥獣対策 虎の巻」の普及</b>            (主な内容) 鳥獣の生態と対策技術、柵の設置方法、捕獲・解体処理方法など            (掲載鳥獣) 8種 (イシシ・シカ・クマ・サル・ヌートリア・アライグマ・カラス・カワウ)</p> <p>④ <b>鳥獣対策モデル地区の設置</b>            (H21年度目標) 15地区 (集団的・効果的な柵の設置等)</p> <p>⑤ <b>研修会・セミナー等の開催</b> 約20回</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主な研修</th> <th>開催時期</th> <th>場 所</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラスの学校</td> <td>H21. 7. 2 10~15時</td> <td>県立農業大学校 大教室・ほ場</td> <td>宇都宮大学教授 杉田 昭栄 氏ほか</td> </tr> <tr> <td>ヌートリア・アライグマ 対策セミナー</td> <td>(8月)</td> <td>(中・西部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シカ対策セミナー</td> <td>(9月)</td> <td>(東部)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カワウの学校</td> <td>(10~11月)</td> <td>...</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ <b>広報活動</b> 農協だより・新聞等への掲載、パネル展示など</p>	主な研修	開催時期	場 所	備 考	カラスの学校	H21. 7. 2 10~15時	県立農業大学校 大教室・ほ場	宇都宮大学教授 杉田 昭栄 氏ほか	ヌートリア・アライグマ 対策セミナー	(8月)	(中・西部)		シカ対策セミナー	(9月)	(東部)		カワウの学校	(10~11月)	...	
主な研修	開催時期	場 所	備 考																		
カラスの学校	H21. 7. 2 10~15時	県立農業大学校 大教室・ほ場	宇都宮大学教授 杉田 昭栄 氏ほか																		
ヌートリア・アライグマ 対策セミナー	(8月)	(中・西部)																			
シカ対策セミナー	(9月)	(東部)																			
カワウの学校	(10~11月)	...																			
支援体制	<p><input type="checkbox"/> <b>イノシシ等被害防止相談窓口</b> (各総合事務所農林局、H17年6月~)</p> <p><input type="checkbox"/> <b>鳥獣被害対策総合窓口</b> (農林水産部 生産振興課、H17年9月~)            ・ 鳥獣被害対策専門員 (H18年9月~) (H20年度指導実績)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指導件数</th> <th>指導人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>121 回</td> <td>1,386 人</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> <b>県鳥獣被害対策連絡会議に「シカ対策部会」・「カワウ対策部会」を設置</b>            (H21. 6. 2)</p>	指導件数	指導人数	121 回	1,386 人																
指導件数	指導人数																				
121 回	1,386 人																				

### (2) 支援事業 (H21年度計画)

(単位: 百万円)

事業名	主な事業内容	事業費	補助金	事業主体	補助率
鳥獣被害総合 対策事業 (単県補助)	① 侵入防止柵の設置	130	51	市町村 農協等	[市町村が主体] 県 1/2
	② 捕獲用具の導入				[農協等が主体] 県 1/3 柵附 1/3
	③ 有害捕獲の実施				
	④ 緩衝帯の設置				
	⑤ 推進・支援費				
	⑥ 捕獲奨励金の交付 (イノシシ・シカ・ヌート リア・アライグマ)			市町村	県 1/2

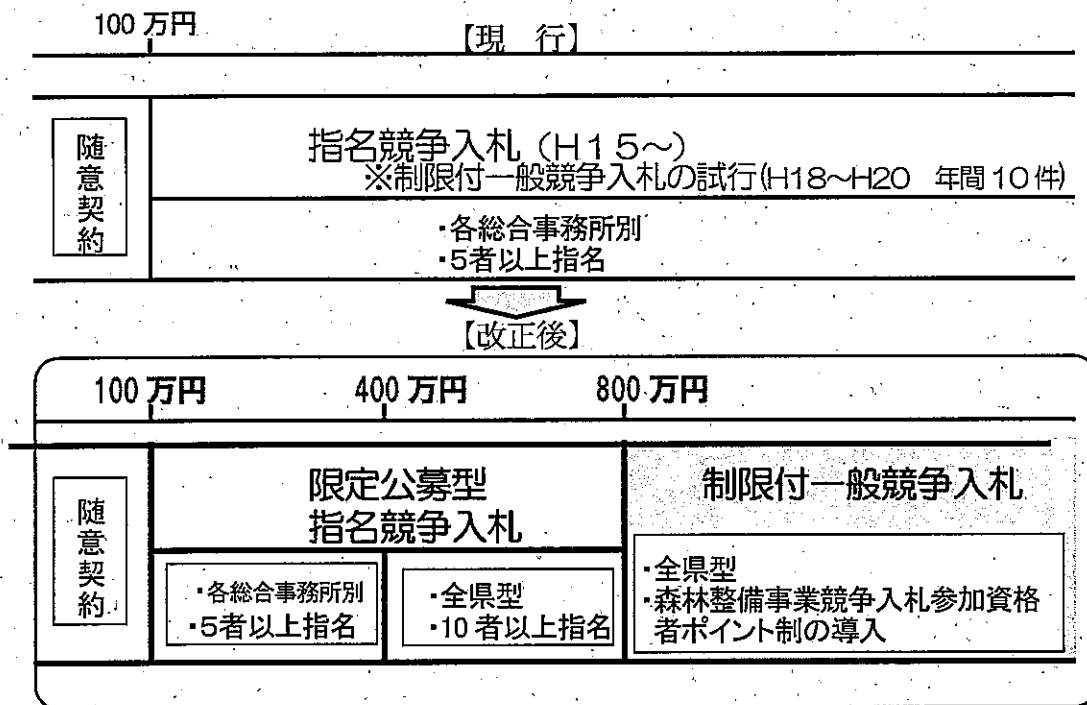
※ その他「鳥獣害防止総合対策事業」(国庫) 等で支援

# 森林整備事業競争入札制度の改正について

平成21年6月8日  
 森林・林業総室  
 (林政企画チーム)

県が発注する森林整備事業の入札制度について、競争性の確保・福利厚生等への取り組みの評価・零細事業者等への配慮等を総合的に勘案し、次のとおり改正する。

## 1. 入札制度改正の概要



## 2. 各競争入札の要点

### ①制限付一般競争入札 (800万円以上)

事業者の事業成績・福利厚生・労働災害防止等への取り組みを評価する制度を新たに創設 (森林整備事業競争入札参加資格者ポイント) し、評価点数の上位50%の県内事業者に参加資格を限定。

### ②限定公募型指名競争入札 (800万円未満)

400万円以上800万円未満 (全県型)  
 県内業者を対象に公募し、応募者の中から、森林整備事業競争入札参加資格者ポイント、受注額、技術者の数、事務所の位置、指名回数的事项により、評価点数上位10者以上の事業者を選定。

100万円以上400万円未満 (各総合事務所別)  
 各総合事務所管内に事務所を有する事業者を対象に公募し、応募者の中から、森林整備事業競争入札参加資格者ポイント、受注額、技術者の数、事務所の位置、指名回数的事项により、評価点数上位5者以上の事業者を選定。

## 3. 平成21年7月から施行

# 財団法人鳥取県造林公社経営検討委員会の設置について

平成21年6月8日  
 森林・林業総室  
 (林政企画チーム)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(平成19年法律第94号)の施行等により、(財)鳥取県造林公社の日本政策金融公庫からの借入金に対する県の損失補償債務が、健全化の評価に当たり、将来、県の負担債務として位置づけられたことから、国のガイドラインに基づき、当該法人の経営改革などを集中的に検討するため、県に経営検討委員会を設置する。

## 1 検討内容

財団法人鳥取県造林公社の長期的な経営計画の検討と経営状況の評価。

## 2 委員の構成

区 分	分 野 業 種 等	氏 名
大 学 (有識者)	鳥取環境大学教授(森林資源管理学)	根本 昌彦
	鳥取大学教授(造林学)	山本 福壽
経 営	弁護士	井木 博子
	税理士	湯口 夏史
事 務 局	農林水産部、総務部	

## 3 スケジュール

年度	区 分	内 容
21	第1回 (21年6月下旬)	○委員会の設置、委員長の選出 ○H14見直しとH18再点検の概要、財政健全化法の森林評価 ○国と地方の政策協議の概要、全国の特色ある取組み、意見交換等
	第2回 (21年7月下旬)	○公社造林地の現状・視察 (収入間伐の取組み、作業道の整備、経済林・不経済林)
	第3回 (21年9月上旬)	○現計画に対する提案、意見交換等
	第4回 (21年10月上旬)	○提案を踏まえた現計画の見直し案に対する意見交換
	第5回 (21年11月下旬)	○現計画に係る見直し提案の最終取りまとめ

## 4 その他

経営検討委員会の意見を踏まえ、県において経営改革プランをまとめ、県議会に報告を行う。

### 【(財)鳥取県造林公社の概要】

- 1 設立年月日 昭和41年4月13日
- 2 分収造林面積 14,566ha
- 3 借入残高(20年度末) 日本政策金融公庫 79億円(県が損失補償)  
鳥取県 22.7億円 計30.6億円

# 県営境港水産物地方卸売市場におけるマグロ観光活用について

平成21年6月8日  
境港水産事務所

境港地域における水産業と観光との連携強化により観光客等への水産物PR、販売促進を図るべきとの地元の意見を踏まえ、連携強化策の一環として下記のとおり市場に水揚げされるマグロを観光資源として活用した見学ツアーを行う。

## 1 マグロ見学部屋（仮称）の整備

### (1) 目的

マグロ市場見学ツアーにおけるガイド・説明を実施する拠点として活用

### (2) 整備内容

- 既存の仲買人詰所を利用してマグロ見学部屋として改修。
- マグロ見学部屋の面積（廊下含む）  
82.76㎡（2階部分）

### (3) 主な展示内容

- マグロ関係パネル 5枚
- マグロの剥製  
※海とくらしの史料館から借用

### (4) 内覧会の開催

- 5月29日、マスコミ及び市場関係者を対象として内覧会を開催した。



写真：5月29日内覧会開催時

## 2 マグロ市場見学ツアー

### (1) 目的

境港における水産と観光の連携を強化し、境港産水産物の情報発信強化による知名度向上、販売拡大を図る。

### (2) 主催

社団法人 境港水産振興協会

### (3) 概要

- ◆生まぐろの水揚げ・せりのダイナミックな風景が見学可能。
- ◆専門ガイドが同行して解説・案内。

※ガイド：(社)境港水産振興協会 熊谷お魚ガイド  
境港水産物市場管理(株) 高島業務部長

期間：6月1日～7月31日（日・祝を除く）

場所：鳥取県営境港水産物地方卸売市場1号上屋

料金：300円/人

人数：原則として団体対応（最少催行人数10名、最大催行人数45名）

概要：

- ・見学所要時間は約60分  
【9:00～10:00】【10:00～11:00】の1日2回実施。
- ・事前予約が必要（5月22日から予約開始）。  
詳細は(社)境港水産振興協会 H.P. (<http://www12.ocn.ne.jp/~suisan/>)
- ・酒気を帯びての見学は不可。
- ・現場ではガイドの指示・ルールを厳守。
- ・まぐろ水揚げが無い場合は見学内容を変更
- ・見学時には必ず帽子・長靴を着用。

### (4) 予約状況

○島根県の旅行会社からの予約有り（6月6日：20名）

○他、広島県の旅行会社や県内の老人会、会社（社員旅行）からの問い合わせあり。